

心理学・教育学委員会排除・包摂と教育分科会  
(第25期・第9回)  
議事要旨

1. 心理学・教育学委員会会議名 排除・包摂と教育分科会 (第25期・第9回)
2. 日時 令和5(2023)年7月5日(水) 18:00~19:00
3. 会場 オンライン会議
4. 出席者 浅井、岡部(委員長)、勝野(幹事)、小玉(副委員長)、坂井、志水、恒吉、中坪、西岡、浜田、松下、湯川

5. 議事

(1) 前々回(第7回)議事要旨の確認  
審議の上、承認された。

(2) 乳幼児発達・保育分科会とのシンポジウムの共同主催について

2023年9月24日に開催予定のシンポジウム「子ども政策の総合化を考えるⅢ：保育・幼児教育の公共性」の趣旨及び内容について浅井委員から説明があり、排除・包摂と教育分科会の共同主催とすること、及び本分科会より岡部委員長が指定討論者を務めることが承認された。

(3) 今後の予定について

岡部委員長より、今期の活動について以下の内容が報告された。

日本教育学会、教育関連学会連絡協議会等と連携し、高校生や教員、NPO職員の参加を得て、広く市民への発信を目的としたシンポジウム等の活動を中心に行ってきた。今期の残り期間(9月まで)は(2)のシンポジウムの開催に向けて活動を進める。

26期については、新メンバーのもとで教育学として何が重要な課題であるかを議論していただきたいので、特に25期からの引き継ぎは行わない。

続いて、岡部委員長、松下委員より、橋本第一部長から、1. 日本学術会議の意思の表出と科学的助言機能の強化、2. 対話を通じた情報発信力の強化 について、分野別委員会からの意見が求められていることの説明があり、委員間の意見交換が行われた。

(4) その他

特になし。